

整理 No.	12	分類	コンクリートがれき 津波堆積土砂	
会 社 名	株式会社 熊谷組			
担 当 者	土木事業本部 環境事業部 横塚 享、吉村丈晴			
連 絡 先	TEL	03-3235-8653	FAX	03-3235-3061
	E-mail	syokotsu@ku.kumagaigumi.co.jp		
技術の名称	ネッコチップ工法			
概 要 (150 字程度)	伐採材などを粉砕した生のチップ材と現地発生土（表土）を生育基盤の主要材料としてリサイクルする法面緑化技術です。さらに現地発生表土に含まれる在来種の種子や根茎により地域植生を復元し、生態系の多様化や保全を可能にする自然回復緑化技術です。施工システムが機械化されており大面積・効率的な施工ができます。			
技術登録等	NETIS 登録番号 CB-980067-V			
技術の概要	現場で発生する伐採材などを針状に粉砕処理したチップ材と現地発生土（表土）を混合し、高速ベルトコンベアにより法面に撒きだし、在来植生の復元とリサイクルを可能にした緑化工法です。チップ材は生のまま 20cm 程度の大きなものでも使用できます。表土を混合した現地発生土は植生に適した土壌となり、在来植生の復元に大きく貢献し、長期的に劣化しない安定した生育基盤を造成します。 ネッコチップ工法の主要材料は、無機質の土壌とチップ材などの有機物です。土壌としては粘土分を含む津波廃棄物などが再利用でき、チップ材は、流木などを破砕して再使用することが可能です。 伐採木・流木 針状チップ化 (長さ20cm以下) 現地発生土 (表土) 異物除去 団粒剤 接合剤 肥料 水 生育基盤材料の製造 (専用ミキシングプラント) 生育基盤の造成 (高速ベルトコンベア式撒きだし機) 法面緑化 施工のフロー  生育基盤材料の製造  法面への生育基盤造成			

次頁

あり・なし

ネッコチップ工法の施工フロー

ネッコチップ工法の特長

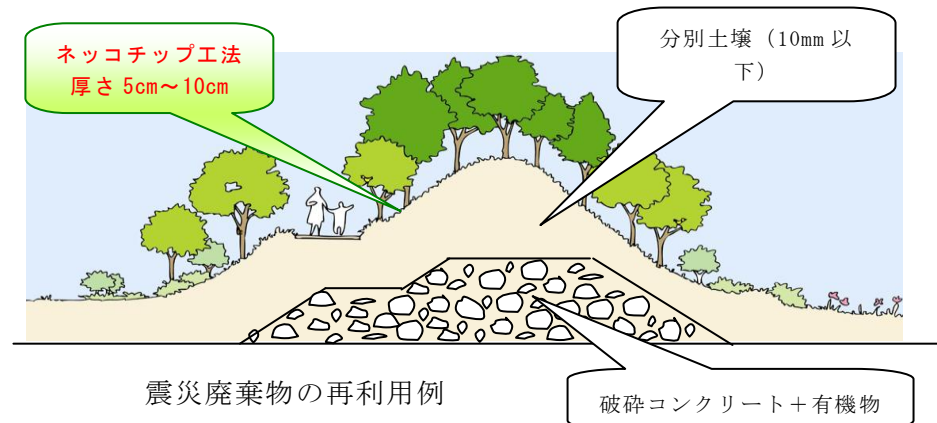
次頁

あり・なし

- ①現地発生表土の利用による在来植生の復元・植生の多様化・生態系の保全が可能です。
- ②無機質を主体とした土壌を材料として用いるため、長期的に安定した生育基盤の造成ができます。
- ③建設副産物（津波堆積物など）の発生量の抑制とリサイクルによるコスト低減ができます。
- ④大きな生のチップ材を生育基盤材料として利用できます。また、従来まで使用が困難であった表土に含まれる根茎、粘土分を多く含んだ土なども有効に利用できます。
- ⑤専用プラント・高速ベルトコンベアを用いた機械化システムにより効率的で経済的な施工ができます。

コンクリートがれき、津波堆積土砂の再利用例（海岸防災林）

ネッコチップ工法は、分別された 10mm 以下の粘土を含む土砂および材木・流木などを破砕したチップ材を有効に再利用できます。



ネッコチップ工法施工実績

2013 年 3 月まで 施工実績 1,600,000 m²



播種工・植栽工の併用による緑化



堤防緑化（無播種）

カタログ・技術資料有り：ネッコチップ工法研究会